

能代市、三種町及び男鹿市沖における協議会（第6回）

○日時

令和7年9月4日（木）16時30分～18時00分

○場所

秋田県庁 正庁
(WEB会議を併用)

○参加者（※WEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁	
省エネルギー・新エネルギー部 部長	小林 大和
経済産業省 資源エネルギー庁	
新エネルギー課風力事業推進室 室長	福岡 功慶
国土交通省	
港湾局海洋・環境課 課長	馬場 智
農林水産省	
水産庁資源管理部管理調整課 計画官	馬場 俊介※
秋田県 副知事	神部 秀行
能代市 市長	齊藤 滋宣
三種町 町長	田川 政幸
男鹿市 市長	菅原 広二
秋田県漁業協同組合 代表理事組合長	杉本 貢
秋田県漁業協同組合 専務理事	菊地 智英
秋田県漁業協同組合 若美地区運営委員長	佐藤 優
秋田県漁業協同組合	
理事 北浦地区運営委員	西方 強
能代市浅内漁業協同組合 代表理事組合長	大高 光晴
三種町八竜漁業協同組合 代表理事組合長	田中 保則
東北旅客船協会 専務理事	武内 伸之（欠席）
秋田職業能力開発短期大学校 校長	中村 雅英
秋田県立大学システム科学技術学部 教授	杉本 尚哉
秋田大学理工学部	
システムデザイン工学科 教授	浜岡 秀勝（欠席）

東京大学教養学部附属
教養教育高度化機構 客員准教授 松本 真由美（欠席）
三菱商事株式会社
常務執行役員
電力ソリューショングループCEO 岡藤 裕治
三菱商事洋上風力株式会社 代表取締役社長 田中 俊一
秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド合同会社
三菱商事洋上風力株式会社
プロジェクトダイレクター 岩城 陽太郎

（オブザーバー）
環境省大臣官房
地域政策課洋上風力環境調査室 係員 大澤 翔※

○議題

（1）本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より、資料3（秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 構成員による推挙により、座長を秋田職業能力開発短期大学校中村構成員、座長からの指名により、副座長を秋田県立大学杉本構成員が選任された。
- 座長より、協議会の公開の方法について、議事要旨及び議事録の公表及び一般傍聴や報道関係者の傍聴を認めるに加え、議論の透明性の観点から録画配信を行うことを説明。

（2）事業性再評価の結果と今後の取組について

- 三菱商事株式会社より、資料4（秋田県「能代市、三種町及び男鹿市沖」「由利本荘市沖（北側・南側）」洋上風力発電事業に係る事業性再評価概要、及び今後の地域での取組説明）を説明。

能代市

- 事業を展開するにあたっては、景況が大きく左右することは、仕方のないことではあるが、非常に残念。市民の期待も大きかったがゆえ、撤退は非常に困惑している。
- 市民の協力をいただきながら、事業を進めていくとの前提の基、様々な共生策を事業者から示していただいているが、今後どのように

に対応していくのか。

- 例えば、公共交通体系網が非常に脆弱である中で、A I オンデマンド交通の手法で、公共交通の脆弱性を補っていただくことなどの提案をいただいていたが、引き続き続けるのか、今回の結果を受け、一度立ち止まるのか。

三菱商事株式会社

- A I 活用のオンデマンド交通については、地域の皆様に貢献させていただいているとの認識であり、地域の皆様に必要とされていることが前提ではあるが、継続していきたい。

能代市

- 能代港について、国と県に整備を進めていただき、活用できる土地も広がり、大変良好な状況となり、また、現在、港湾計画を改訂しながら、更に土地を広げる方向で進めているが、事業者において、能代港の活用方法を検討することがあるか。

三菱商事株式会社

- 洋上風力事業における利用との観点からは、事業撤退とのことであるため、利用させていただくということは、考えづらい。
- それ以外の利用方法については、あらためて相談をさせていただきながら、判断をしていきたい。

能代市

- 国と県が145億円をかけて、地耐力強化、静穏度向上、護岸などの整備を行ってきた港であるため、洋上風力事業での活用が難しいとのことであれば、事業者グループの中で、港を活用するような事業において、活用を検討いただけするとありがたい。

三菱商事株式会社

- 承知した、あらためて相談させていただきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 非常に難しいことであり、事業者としても、容易には回答できないものと思われるが、前向きに検討していただけるとありがたい。

三種町

- 今回の撤退については、大変残念ではあるが、事前に丁寧に説明もいただき、撤退もやむを得ないものと考えている。
- これまで、4年近く地域の共生策を相談してきた関係であり、今後に向けて、この関係を維持したいと考えている。
- 当町においては、ＳＴＥＡＭ教育を始めとして、様々な協力をいただき、連携協定を結ばせていただいているが、その協定は、直ぐに解消するものではないとの説明もいただいており、大変ありがたい。
- 今後も、教育、人材育成のための協力を、引き続きお願いするとともに、漁業関係においても、様々な対応をいただいており、今後に活かせるような情報や経験などを、次の事業者に引き継いでいただけるとありがたい。
- 当町での送電線の陸揚げ、陸上変電所設置などの計画もあり、そのような計画を、早く次の事業者に引き継ぐことにより、再公募、次の事業のスタートまでの期間が短縮できると期待もあるので、力添えをいただけると幸い。

三菱商事株式会社

- 教育プログラムを始めとして、相談させていただきながら、様々なことに取組ませていただいているが、このような取組みは、引き続き続けていきたい。
- 次の事業者が生かせるような取組みや変電所など、必要となる情報については、提供させていただく準備はしており、可能な限り速やかに、次に繋げていけるように、お手伝いをしたい。

男鹿市

- 今回の撤退について、とにかく残念であり、市民からも同様の声を聞いている。
- 洋上風力発電事業、また、県と国の支援により、船川港においては、27年ぶりに港湾計画の改訂を行い、市民の夢が実りつつある状況であり、その夢を実現できるよう、今後も、力添えをお願いする。
- 男鹿は秋田県内で最も漁獲量が多く、また、ブルーカーボンにも期待をしており、事業者には漁業（魚介類、海藻など）の振興など、地域共生策を、共に進めていただくようお願いする。

三菱商事株式会社

- 漁業を含めた様々な共生策について、今後も、どのようなことが必要とされているのか、相談させていただきながら、継続していきたい。

秋田県漁業協同組合（若美地区運営委員長）

- 事業者の撤退との話を聞いたときには、体から力が抜けたような状態となつたが、撤退は仕方なく、今後は、共生策を長期に渡り続けさせていただくようお願いする。
- 国の方には、1日も早く今後の道筋をつけていただくようお願いする。

三菱商事株式会社

- ご期待に添えなかつたことを重く受け止めており、共生策については、引き続き、相談をさせていただきながら、続けていきたい。

秋田県漁業協同組合（理事 北浦地区運営委員）

- 事業者に対しては、様々な相談に乗っていただき、感謝をしているが、撤退とのことで、本当に残念である。
- 共に行ってきた共生策、今後行う予定の共生策について、次の事業者が決まるまで続けるのか、途中で打ち切るのか。

三菱商事株式会社

- どのようなことを、どのように続けていくか、現時点で、明確にお答えすることは、難しい。
- もちろん続けていく予定であり、どのような共生策が必要とされているのか、地域の皆様に役立てることができるのか、相談させていただきながら、決めていく必要があるとの認識を持っており、その中で、どのようなことを、どのように続けていくのか、決めていきたい。

秋田県漁業協同組合（理事 北浦地区運営委員）

- 次の事業者が決まるまで、共生策を続けてもらえることが、最もありがたい。

三菱商事株式会社

- どのようなことを、どのように続けていくことが、地域の皆様にとって良いのか次第だと考えている。
- 次の事業者の方に確実に引き繋ぐことが、大事との認識を持っており、引き続き、相談をさせていただきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 以前の協議会より申し上げてきたことであるが、事業者の事業は慈善事業ではないため、その点は理解する必要がある。
- 事業者、地域双方にWIN-WINの関係とならないと続いているかなこととなり、事業者、地域双方にとってプラスとなることを探していくだくのが一番良いと思う。

能代市浅内漁業協同組合

- 期待をしていたからこそ、撤退について、本当に残念であり、驚きをもって受け止めている。
- 共生策について、今後も継続されていくことは、非常にありがたく、次の事業者が決まるまで、何としても継続していただきたい。
- 収入が上がったことや、基金を期待して船などを購入したなどの話も組合員より聞いており、そのような漁業者もいることを認識した上で、今後を考えていきたい。

三菱商事株式会社

- 重く受け止め、どのような施策が、地域の皆様の役に立てるか、また、次の事業者に繋いでいけるのか、最もご心配されていることかと考えており、引き続き、相談をさせていただきながら、対応をしていきたい。

三種町八竜漁業協同組合

- 今まで事業者には、様々な相談に乗っていただき、また、調査なども行っていただき、本当に感謝している。今後も、様々な面で、相談に乗っていただけると幸い。
- 斜路の整備について、以前に町、県にお願いしたものの、保全区域のため難しいとの回答だった。洋上風力事業の中において国が主導して、整備がなされるようお願いしたい。

経済産業省（事務局）

- 国としても、県、町と相談しながら、何ができるか検討してきたい。

三種町

- 斜路整備については、以前より相談を受けており、県に整備を要望した経緯もあるが、保全区域において漁業施設を整備することは困難であるとの回答であり、町としてはそれに代わる共生策を進めてきている。
- この大きな方針が変わらなければ、整備実現は困難との認識であり、この件については、今後、県とも相談しながら、対応していく必要があるものと考えている。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 非常に難しいことであるが、よい機会であるため、前向きに、次に繋がるよう進めていただきたい。
- 何かの機会があれば、実現する可能性もあるため、要望があったことについては記録に残しておく必要がある。

三種町八竜漁業協同組合

- 申し上げたように、様々な問題があることを、次の事業者にも伝えいただき、解決できるよう協力をお願いする。

三菱商事株式会社

- 承知した、これまでってきたことの経験など、確実に引き継いでいきたい。

秋田県（事務局）

- 今回のプロジェクトは、秋田をフィールドに行われる大規模な事業というだけでなく、法に基づいて国がデザインしたスキームの中で、手挙げ方式により、事業者が選定され、進めてきたとの経緯がある。事業の公益的側面、国を代表する企業が事業者であるなどの理由から、事業の一定の見直しやスケジュールの変更があっても、撤退はないと考えていたので、今回の決定については、大変大きな衝撃を持って受け止めている。
- 県では、安定的な発展性のある産業経済基盤を構築していくことが長年の課題であり、そのような中で、洋上風力発電の導入拡大、生

み出されるクリーンエネルギーを活用した産業の集積など、我が国が目指すカーボンニュートラルに貢献しながら、これから秋田を牽引していく一大プロジェクトと捉え、県が先頭に立って関係自治体、民間事業者、業界団体、経済団体とも一丸となって、円滑な推進に向けて取り組んできたところである。

- 秋田県は事業主体ではないが、事業推進のパートナーであるという意識を持って、取組を進めてきただけに、突然の撤退の決定、表明との印象を持っており、非常に遺憾である。
- 今回の決定が及ぼす影響は、広範かつ多大なものと思われ、関係者に対しては、今後も、経緯や理由についての丁寧な説明、また、社会的な責任を果たす意味において、影響を受ける多くの方々に、誠意ある対応をお願いする。
- 関係者の皆様から要望のあった地域共生策について、県からも継続をお願いする。
- 撤退以降も、秋田、地元と関わりを持ち、WINWINの関係となる分野を探しながら、パートナーとして取り組んでいただきたい。現在の取組以外でも、多くの課題を抱えており、秋田の課題解決、発展に向けた多方面のチャレンジについても、今後も積極的に関与いただくようお願いする。

三菱商事株式会社

- ご指摘の点を大変重く受け止めており、洋上風力事業者としての責任に留まらず、ご縁もあることから、開設している秋田支店を通じて、引き続き秋田の抱えている地域課題の解決などにおいて、お手伝いをしたい。

秋田県立大学

- 当大学においては、洋上風力の人材育成に取り組んでおり、全国各地の大学と連携して、洋上風力へ人材を供給するために取り組んでいる。今回の状況により、学生たちが、洋上風力業界は不安定とのイメージを抱く可能性があり、可能な限り早くに次の事業者が決まり、洋上風力業界へ学生たちが期待して進んでいけるよう、協力いただきたい。

三菱商事株式会社

- 次の事業者が早急に決まるよう、可能な限りのことを行っていきた

い。

- 教育に関するニーズについて、お手伝いできることがあれば、相談させていただきながら、可能な限りのことを行っていきたい。

国土交通省（事務局）

- 能代港の整備について、洋上風力発電事業を成立させるためのインフラとして、港湾の整備が欠かすことができないとのことで、秋田県と共に先行投資を行ってきた。
- 今回の決定は、極めて忸怩たる思いを持っているが、このような港湾は、今後、洋上風力事業を展開していく上では、地域の財産であり、投資を行った港湾が、役割を果たせるように、当省としても、支援していきたい。
- 船川港についても、洋上風力発電事業を30年の期間に渡り支えていくことも港湾の役割であり、地域の関係者の皆様と共に、取組みを進めていきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 残念なことではあるが、事業者の決定事項は変わらず、次のステップに進めていくことが大切である。
- 本日の意見・質問を踏まえ、国においては事業環境整備に向けて取組を進めるとともに、事業者においては地域の声として真摯に受け止めていただきたい。

（3）今後の取組について

- 経済産業省（事務局）より、資料5（今後の取組について）を説明。

秋田県漁業協同組合（専務理事）

- 協議会のとりまとめに関して、基金については第1ラウンドと第2ラウンド以降は、算定の考え方が異なっており、第2ラウンド以降は全て同様の考え方となっているため、その考え方方に合わせていただきたい。
- また、漁業影響調査について、第1ラウンドでは、漁業影響調査を行う程度しか示されていないが、第2ラウンド以降では、方針など詳細に示されている。協議会の中で議論が難しいとのことであれば、協議会の中に実務者会議を設置し、検討を行うなど、しっかりと

とした漁業影響調査を行い、漁業者の不安を払拭していただきたい。

経済産業省（事務局）

- 第2ラウンド以降において、基金、漁業影響調査など、新たに改善された部分もあり、良い部分は可能な限り取り入れた形で進めていきたく、今後の方向性の合意形成がなされた後に、その部分についての協議をさせていただきたい。

三種町八竜漁業協同組合

- 基金について、次の事業者においても、現在の取決めの通りに進めていくのか、協議して変更していくのか、教えていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 今後の方向性が決まった後に、ご指摘の点についても議論を深めていきたい。

秋田県（事務局）

- 今回のプロジェクトは、県としても、大変大きな意味のあるプロジェクトであると捉えており、各漁業関係者のご意見などを取り入れながら、地元の合意の上で、可能な限り早期の再公募をお願いする。
- 再公募に際しては、事業の撤退に至った背景を十分に踏まえて、事業が最後まで完遂できるような制度設計をお願いする。
- 今回の撤退に伴い、様々な影響を受ける方がおり、現在、県において調査を行っている。特に先行投資を行った事業者には、県としても寄り添った対応をしていくが、国においても、最大限の、かつ弾力的な支援をお願いする。
- 地元として、官民挙げてこの国家的プロジェクトの推進に、今後も可能な限り貢献できるよう取り組んでいきたい。事業主体、国、地元がより密な意思疎通を図りながら、プロジェクトを共に推進していくよう配慮いただきたい。

経済産業省（事務局）

- いずれのご指摘も重要であり、今後の取組みにおいて参考にさせていただきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 次の事業者を可能な限り速やかに決めていく必要があることについては、全関係者共通の意見であると考えている。
- 次回以降は、再公募を行うことを前提に検討を進めることとし、具体的には協議会意見の見直しなどを議論していくこととしてはいかがか。

【異議なし】

- 事務局においては、再公募を行うことを念頭に、次回以降、協議会意見とりまとめの見直し等の調整・整理を行っていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 今後の協議会の進め方について、本協議会としては本海域で再公募を行う方向で調整することとし、その再公募に向けて、協議会意見とりまとめの見直し等について、次回以降、検討させていただきたい。
- 具体的な開催時期や内容については、改めて調整させていただきたく、引き続きよろしくお願ひする。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 事務局においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上